

## 第404回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 平成21年9月2日(水) 午前10:30より

2. 開催場所 長野放送会議室

3. 委員の出席

○委員総数 9名

○出席委員数 6名

○出席委員の氏名(敬称略・委員は50音順)

委員長 宮本 忠長

副委員長 中村 重一

副委員長 松田 幸子

委員 小出 貞之

委員 塚田 芳樹

委員 丸山 仁也

4. 放送事業者側出席者

相崎 由松(代表取締役社長)

瀬木 潔(代表取締役副社長)

堀 眞一(代表取締役専務・報道局制作局担当)

関 義仁(取締役編成局・番組審議会担当)

宮尾 哲雄(報道局長)

飯 嶋 憲彦(編成局編成部長兼視聴者室長)

山口 慶吾(番組審議会事務局長)

5. 議題

NBS月曜スペシャル

NBS開局40周年記念シリーズ

あの時 この人 そして今

「よみがえれ諏訪湖3～ドイツに学んで12年、あしたへ～」

7月27日(月)午後7:00～7:54放送

6. 番組の内容

「NBS開局40周年記念シリーズ「あの時 この人 そして今」は、過去に制作放送したドキュメンタリー番組の中から印象的なものを幾つか選び、その番組とそこで取り上げた人物や事物の「現在」を取材して放送するアーカイブ番組。

今回取り上げた「よみがえれ諏訪湖3～ドイツに学んで12年、あしたへ～」は、12年間の諏訪湖の浄化活動を追った番組で、8年前の2001（平成13）年に放送したもの。

## 7. 審議の概要

- ・諏訪湖の浄化に向けて12年間市民がやってきた努力をはじめて知った。
- ・8年前の番組そのものは、ドイツまで取材に行くなど力の入ったもので素晴らしかった。ただ、まだ残されている今の課題について、もう少し突っ込んで欲しかった。
- ・過去の作品を時を経て放送することに今日的な意味もあり、訴えていることは少しも古くないという感じがした。
- ・過去の作品をベースにしながらかつ今日的にという点で、時間配分に苦労があったと思うが、やはり今日的な視座の部分がどうしても薄くならざるを得なかったという気がした。
- ・番組の縦糸に藤原正男さんを使った点が良かった。ドイツに学ぶために皆さんが時間をかけて努力している姿が良く出ていた。
- ・取材が長期に渡り、ドイツにまで取材に行った元の番組は、今見ても見応えがある。貴重な記録であり、諏訪湖浄化を追い続けてきたNBSとして、続編を作る義務を負っているとも言える。
- ・過去に制作したドキュメンタリーをもとにしたこの番組は、大変いい企画だと思う。
- ・環境保全が議論されている中で、非常にいいテーマであり視聴者にいい番組を提供した。